

1936年生まれの偉大な二人

JJ1SXA/池

2024年のノーベル物理学賞の受賞者にアメリカのプリンストン大学のジョン・ホップフィールド教授と、カナダのトロント大学のジェフリー・ヒントン教授の2人が選ばれたのは皆さまご存じのとおりです。

ホップフィールド教授は人間の神経回路を模倣した「人工ニューラルネットワーク」を使って、物理学の理論から画像やパターンなどのデータを保存し、再構成できる「連想記憶」と呼ばれる手法を開発しました、この手法によって、不完全なデータから元のデータを再現できるようになりました。

ヒントン教授はこの手法を統計物理学の理論などを使って発展させ、学習した画像などの大量のデータをもとに可能性の高さから未知のデータを導き出すアルゴリズムを開発しました。

実は、ホップフィールド教授と同じ理論を1967年の甘利俊一氏の論文が提唱していたのです、そして最近、甘利氏が上梓した「脳・心・人工知能〈増補版〉」の3章では大規模言語モデル(LLM)が60年前の氏の理論の発展であることを示している。

いま人工知能と呼ばれているのは知能では無く機械学習で、そのハードウェアはPCなどとは違うニューラルネットである。

これが実装されるようになったのは1990年代だが、甘利氏はその原理を1960年代に数学的に定式化した、時代の先を行きすぎてハードウェアに実装できなかったが、これが今の深層学習の原型であり、2024年のノーベル物理学賞の共同受賞者になってもおかしくない存在だ、「Wikipedia」によると、甘利氏は1936年1月3日生まれだ。

話変わって、先日亡くなった、ご存じ長嶋茂雄氏、六大学野球のスターから、プロ野球のスターへ、愛称はミスタージャイアンツから、ミスタープロ野球、そしてミスターで通っていた。

歌舞伎を手本にしたという華麗な守備と、わざと大きめのヘルメットをかぶり、ヘルメットを飛ばす豪快な三振、すべてファンサービスだ、家庭的には恵まれなかったようだが、迷語録と共に底抜けの明るさ、万人に愛された、引退時の「我が巨人軍は永久に不滅です」の言葉は「長嶋茂雄は永久に不滅です」に置き換えても良い、「Wikipedia」によると、長嶋氏は1936年2月20日生まれだ。

このお二方に比ぶべくも無いが、1936年1月生まれの私は、この偉大なお二方とほぼ同時期の生まれだ、月とすっぽん程の差はあるが、何か親近感を覚える、長嶋氏は故人となられたが、甘利氏は存命だ、これから先どちらが長生きするか？残念ながら、それ位しか競争はできない(笑)

(2025年6月記)